

「春日部市生涯学習都市宣言」の解説

1 宣言文について

だれもが親しみを持って、分かりやすい宣言となるように、最初に宣言の理念や目指すまちづくりの方向性を前文として文章形式で表現し、目指すまちづくりの方向に向かって具体的な行動を起こしやすいように、平易な表現の箇条書きを組み合わせた宣言文としました。

2 宣言文の内容について

① 前文について

21世紀は、個人の価値観に合わせ心身ともに充実した生活を営む、質的な豊かさを実現する時代です。

○ 解説

少子・高齢化や、科学技術の進歩による高度情報化などにより社会情勢は著しく変化しています。社会の成熟化により自由時間が増加し、ライフスタイルや価値観の多様化が進んでいる現代社会は、「物の豊かさ」から「心の豊かさ」を求める時代となっていることを明記したものです。

市民一人ひとりがうるおいのある生活を送るためには、生涯にわたり学びつづけることが重要です。

○ 解説

市民の日常生活における心の豊かさ、精神的余裕が感じられる充実感のある暮らし、そしてお互いに共感し合える活力のある地域社会を市民自らが主体的に目指すためには、生涯にわたって学び続けることが重要であることを明記したものです。

また、多彩な歴史・文化にかこまれ、心豊かで活力ある市民が暮らすことができるまち「春日部」の実現は、わたしたちみんなの願いです。

○ 解説

日光街道の宿場町、日本一の大風など歴史と文化にかこまれた「春日部」のよさを表現し、これらに対する学習を深め、春日部市の歴史や文化を守り育て、将来の世代に引き継いでいくことが必要です。

市民が将来にわたって、多彩な歴史・文化に触れ学習することができる生活の中で、心の豊かさを感じながら活力に満ちた地域社会を形成することの大切さを掲げたものです。

「わたしたち」とは、子どもから大人まですべての市民のことを指し、学習の主体は市民にあるということを示しています。

わたしたちは、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、自己を高めるとともに、人と人の絆を深めるまちを目指すため、ここに「生涯学習都市」を宣言します。

○ 解説

押し付けではない市民の自発的、主体的な意思に基づき、一生涯、あらゆる機会に、あらゆる場所において自己に適した手段・方法で生涯を通じて学び続け、自らの人間性を高め、人と人の絆を深めることで他人を思いやり、生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ることが大切です。また、学習により身につけた知識・技術・経験などをボランティア活動などで地域の中で生かし、評価されることは、学習者自身の喜びとなり、次の段階の活動へ移行する意欲につながります。

生まれてから死ぬまで、人生のさまざまな場面で学び続けることによって、市民生活における理想の実現やまちづくりを行おうとする市民の強い意思を表明するものです。

② 簡条書き文について

項目数を3項目とし、生涯学習により市民一人ひとりが行う行動を明記したものです。

－ わたしたちは、スポーツ、文化・芸術に親しみ、健やかで活力に満ちた生活を送ります。

○ 解説

市民一人ひとりが各種のスポーツに親しみ、スポーツを通して心と体をたくましく鍛え、健康につなげることが大切です。また、スポーツ的分野だけでなく、文化・芸術的活動に取り組むことも大切であり、スポーツや文化・芸術両面に親しみ、創造性と人間性あふれる生活を生涯学習に求めることを明記したものです。

－ わたしたちは、郷土の歴史・文化を愛し、教養を高め、心豊かな暮らしに生かします。

○ 解説

モノの豊かさだけでなく、長年の歴史と栄えある文化のかおり高い郷土春日部のよさを味わったり、新たな文化を構築するなど教養を高めることで、真に心の豊かさや、精神的な面でのゆとりが感じられる暮らしを生涯学習に求めることを明記したものです。

－ わたしたちは、学んだことを地域で生かし、すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくりまします。

○ 解説

学んだことを市民自らが地域において主体的に生かし、また市民と行政が連携し様々な地域課題を解決することで、すべての市民が充実感や生きがいなどを実感でき、信頼・協力し合い、いきいきと前向きに活躍できるまちづくりを生涯学習に求めることを明記したものです。